

# 自宅のブロック塀などを点検しましょう

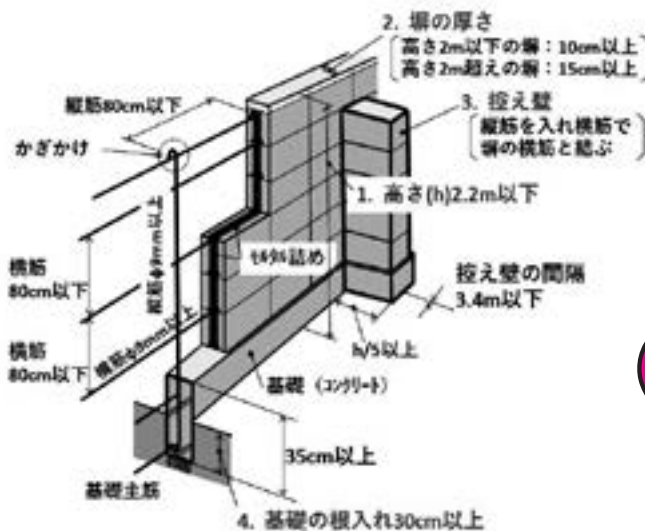
ブロック塀は、法基準に適合した施工と適切な管理を行っていれば安全な構築物ですが、法基準に適合していないものや管理不良のものは、地震や台風などの災害により倒壊の危険性があります。

倒壊したブロック塀は、道路をふさいで避難や救助の妨げとなり、人命に関わる事故にもつながります。事故が発生した場合は、設置者が管理者責任を問われることもあります。

下記のチェックポイントを参考に点検を行い、危険箇所を発見した場合、まずは施工業者に確認・相談していただくか、環境安全課（☎64-7708）または、学校教育課（☎64-7713）までお問い合わせください。

## チェックポイント

<input type="checkbox"/> 傾き、グラツキがある	塀が傾いていたり、手で押すとグラツキがあったりするものは、少しの揺れで倒れる危険性があります。
<input type="checkbox"/> ひび割れがある	ひび割れがあると、その部分から雨水が入り、中の鉄筋が錆びて強度を低下させ、少しの揺れで倒れる危険性があります。
<input type="checkbox"/> 高さが高すぎる	法律で、ブロックの厚さが10cmの場合は、高さ2.0m以下。15cmの場合は2.2m以下と定められています。高い塀は、強い地震の揺れで倒れる危険性があります。
<input type="checkbox"/> 控壁の間隔が広すぎる または控壁がない	高さが1.2mを越える塀は、3.4m以内ごとに控壁を設置する必要があります。間隔が広すぎたり、控壁がなかったりすると、強い地震の揺れで倒れる危険性があります。
<input type="checkbox"/> すかしブロックが連続して使用されている	すかしブロックの両側には鉄筋を入れることが出来ません。必要な鉄筋の量が不足している可能性があります。このような塀は、地震で倒れる危険性があります。
<input type="checkbox"/> 石垣の上にブロック塀が設置されている	土台の石垣に鉄筋が入らず、非常に危険です。地震の揺れで倒れる危険性があります。
<input type="checkbox"/> 石塀	鉄筋が入っておらず、ブロック塀以上に危険です。



災害はいつ起こるか  
わかりません!!  
早めの点検をお願いします。